

第1号様式

市民との意見交換会・報告書

開催地区： 日新地区	開催日： 令和8年5月7日(木)	開催時間： 18:00 ~ 19:40
担当班： 第3班	出席議員： 成田 芳雄、高橋 義人、村澤 智、丸山さよ子、渡部 認	
開催場所： 日新コミュニティセンター 2階講習室		
参加人数： 男性5名、 女性1名、 合計6名 (他自治体等傍聴者1名)		
会場の雰囲気、次回に向けての反省点、申し送り事項など		
1. 意見交換の総括		
(1) 議会報告、市政全般についての総括		
① 2月定例会議について		
ごみ処理手数料について、手数料ではなく税金なのではないかという意見が出された。		
② 市政全般(市のまちづくりに向けた課題)について		
令和8年7月に本町の生協が閉店することになり、生活しにくくなる。議会が研究している、地域住民主体のまちづくりや商店街活性化の取組の研究成果を生かし地域の活性化を図ってほしいという意見が出された。		
【その他の主な意見等】		
人口減少の課題解決に向けて議員は考えてほしいという意見が出された。		
(2) 地区別テーマについての総括		
① 地区別テーマ		
ごみ出しの現状と地域の助け合いについて		
② テーマ設定の理由、背景		
令和8年度から始まったごみ処理の有料化について、市民生活や地域にどのような影響が生じているのかを早期に把握するために、3班が担当している3地区のテーマとした。また、地域の高齢者が増えたことにより、ごみ出しが困難な方への支援や、認知症の早期発見につながる見守りなどの活動を通じて、地域の新たなつながりや住民同士の支え合いを深めるために、市民の皆様から現状や課題、今後の地域づくりに向けたご意見を伺う。		
③ 主な地域課題		
・大きな道路に面したごみステーションでは、不適切なごみ排出が見受けられ困っているという意見が出され、防犯カメラ設置について意見が交わされた。防犯カメラの設置を検討した町内会では、設置場所が確保できず設置できなかった事例が出され、設置場所の確保に課題があることが明らかになった。		
・燃やせないごみ等の家電リサイクル法対象外の家電や金属類のリサイクルの推進について意見が出された。		
・外国の方に、ごみ出しの方法について理解していただくことに苦労しているという意見が出された。外国の方に対し、ごみの出し方について理解促進を図る必要がある。		

会津若松市議会議長 様
令和8年5月15日

会津若松市議会市民との意見交換会実施要領第2項第11号の規定により提出します。

予算決算委員会委員長 小倉 孝太郎

意見交換会第3班 代表者 成田 芳雄

○ 議会報告(定例会など)、市政全般(市政・議会運営に関する意見交換)について

※処理状況について：【分類】議会に関するもの「●」、市政に関するもの「○」【番号】回答(処理)済「①」、ご意見として伺った事項(含む情報提供)「②」、後日回答「③」

市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	処理状況※			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
家庭ごみ処理有料化で積み立てられる手数料の使い道という記載があるが、手数料ではなく税金ではないのか。 税収であれば使い方が固定されるが、手数料となると、何にでも使えてしまうのではないのか。	国が出している一般廃棄物処理有料化の手引きでは、ごみ処理の有料化によって自治体に入ってくるお金を手数料としており、ゼロカーボンシティ会津若松推進基金条例の中で、ごみ処理手数料という表記になっている。使途についても資源循環型社会の形成、衛生的な生活環境の保全、地球温暖化対策に要する資源に充てると定めている。	○	①		環境
人口減少の課題解決に向けて議員が考えていかなければならない。検討していただきたい。	市議会としても人口減少は重大な課題と捉えている。特効薬となるような政策は難しいが、会津で育った方が会津に残れる環境を作っていく。また、一度会津を出た方が戻って来てくれるような環境を作っていくことも大事であると考えている。また、移住支援や、交流人口の拡大、市の雇用の場の確保等、多くの議員が一般質問等で取り上げている。今後も効果的な方法を研究し、政策提言をしていく。	●	①		行政
環境美化推進協議会について市は補助金を交付し支援しているが、お金を出して終わり、検証をあまりしていないのではないのか。	ご意見として伺う。	○	②		環境
地域おこし協力隊が大戸・一箕・行仁等に配置され、まちづくりに貢献していると伺っている。地域おこし協力隊と作った行仁地区のパンフレットを見せてもらった。全市的にやるのではなく、各地域の特徴を捉えまちづくりをしていくことは良いことだと思う。	地域おこし協力隊は、農業や、伝統産業など様々な分野で活躍している。地域づくりでは、湊地区3名、大戸地区2名、行仁2名、一箕地区2名が今年度配置予定で、集落支援員が、湊地区1名、河東地区2名、北(町北・高野)地区1名、大戸地区1名、一箕地区1名配置予定。地域づくりの活動支援を行っている。参考になる活動があれば、市民協働課に問い合わせていただきたい。	○	①		まちづくり

○ 議会報告(定例会など)、市政全般(市政・議会運営に関する意見交換)について

※処理状況について：【分類】議会に関するもの「●」、市政に関するもの「○」【番号】回答(処理)済「①」、ご意見として伺った事項(含む情報提供)「②」、後日回答「③」

市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	処理状況※			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
本町にある生協が7月に閉店になる。日新地区では食料品や日用品の買い物に不便が生じ、生活しにくくなり、地域の方が困っている。区長会や商店街でも生協店の継続を生協に要望したが、変わらなかった。また、設置されていたATMもなくなった。地域を活性化する方法が必要である。議会では、地域住民主体のまちづくりや商店街活性化への取組を研究テーマにしている。研究を生かして地域の活性化を図ってほしい。	ご意見として伺う。	●	②		中心市街地

○ 地区別テーマでの意見交換について → ごみ出しの現状と地域の助け合いについて

※処理状況について：【分類】議会に関するもの「●」、市政に関するもの「○」【番号】回答(処理)済「①」、ご意見として伺った事項(含む情報提供)「②」、後日回答「③」

市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	処理状況※			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
	令和8年4月よりごみ処理の有料化が始まったことによる地域への影響について、現状と課題等を伺っていききたい。また、ごみ出しのルールが変わる中、分別等を含め、ごみ出しが困難になっている方も想定されることから、地域の支援、支え合いについて皆さんのご意見を伺い、議会として対応できること等を考えていきたい。	—			
地区には4か所のごみステーションがあり、有料化になってからごみは減っており、大体良好であるが、1か所の大きな道路に面したごみステーションでは、指定ごみ袋ではない袋で捨てられたものがあり、町内会で買ったごみ袋に入れ替えて対処している。道路沿いは他地区の方が捨てることがあるので、防犯カメラの設置について教えてほしい。	環境共生課の事業で、町内会活動ガイドブックに違反ごみ等見守りカメラシステムについて紹介されている。不法投棄やごみステーションへの悪質な違反ごみ投棄の防止を目的に、防犯カメラを設置期間原則1か月貸し出している。また、危機管理課では、防犯カメラの設置補助も開始された。担当課に相談していただきたい。	○	①		環境
市が保有する貸出カメラの台数が少ないのではないのか。私が住む町内会で環境共生課の見守りカメラシステムを利用しようと検討したが、設置場所が確保できなかったため、設置を見送った。カメラの映像責任は環境生活課であり、我々が映像を見て誰が捨てているのか確認するものではなく、抑止効果を期待するものである。	ご意見として伺う。	○	②		環境

○ 地区別テーマでの意見交換について → ごみ出しの現状と地域の助け合いについて

※処理状況について：【分類】議会に関するもの「●」、市政に関するもの「○」【番号】回答(処理)済「①」、ご意見として伺った事項(含む情報提供)「②」、後日回答「③」

市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	処理状況※			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
ごみ処理の有料化から1か月経過し、警告の張り紙がされているのは2か所ある。その周辺はアパートもあるので、アパートに住んでいる方にも理解していただくことが必要。 生活ごみは水切りや分別である程度減量できるが、燃やせないごみや粗大ごみの減量は難しい。家電リサイクル法の対象外の家電やなべ釜など金属のリサイクルが必要ではないか。	金属や資源物の買取をしている事業者が複数ある。ある町内会では、資源物を直接業者へ持っていき買取してもらっている。	○	①		環境
町内で防犯カメラを設置するという話が出たが、不法投棄を防止する看板設置をすることになり、環境共生課に相談しポイ捨て禁止の看板を1つ借りた。同様の看板設置を希望する組が多数あり、市の担当課の了解を得て、A3でコピーし、ラミネート加工したものを配布予定。看板には、町名と会津若松市と記載されている。	ご意見として伺う。	○	①		環境
	高齢の方のごみ出し支援について伺いたい。 市では、地域支援ネットワークボランティアの制度があり、ごみ出しの支援も行っている。	—			
民生委員の方は、一人暮らしの高齢者の方を把握しているが、ごみ出しの支援まではお願いできない。	ご意見として伺う。	○	①		環境
私は民生委員をしていて、一人暮らしの方の掃除ボランティアもしている。掃除のときにごみを出せるように分別し、まとめている。その方は、話し相手になっていただくのが一番うれしいと言っていた。	大変助かる支援である。	○	①		環境

○ 地区別テーマでの意見交換について → ごみ出しの現状と地域の助け合いについて

※処理状況について：【分類】議会に関するもの「●」、市政に関するもの「○」【番号】回答(処理)済「①」、ご意見として伺った事項(含む情報提供)「②」、後日回答「③」

市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	処理状況※			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
私の地域では、ごみステーションが6か所あるが、高齢の方でも歩いてすぐのところにあり負担が少ないと思う。こまめに作っておくことも大事ではないか。今は、ごみステーションのカラス対策が万全になるよう改善を考えている。 外国の方にごみ出しについて理解していただくことに苦労している組の方もいる。	翻訳アプリを使うのも一つの方法ではあるが、外国の方から、多言語のごみ出しカレンダーを作してほしいという要望も伺っている。	○	①		環境
ごみ袋の一番小さなものが5リットルだが、普段出すごみは少量なので、もっと小さなごみ袋が欲しい。 家庭ごみをごみ処理施設に持っていった場合、50キロ以下が800円だが、20キロ、30キロなど中間の料金設定があればよい。	ご意見として伺う。	○	②		環境
ごみ袋に詰め込むと破れたり、穴があいたりする場合があります、もう少し厚いものが欲しいという要望がある。	ご意見として伺う。	○	②		環境
ごみ処理の有料化について地域の方からどのような意見が出されるのか興味があり、他の地域から参加した。ごみ出しの課題や、看板のラミネート加工の工夫、地域の協力などを伺い、勉強になった。	ご意見として伺う。	○	②		環境